コロナ禍におけるニューツーリズムの考察

―中部地方の宿泊施設と「ワーケーション」―

STUDY ON NEW TOURISM IN COVID-19 PANDEMIC: ACCOMMODATION AND “WORCATION” IN THE CHUBU REGION

渋谷鎮明（中部大学国際関係学部）

呼春（中部大学国際人間学研究科・院生）

SHIBUYA, Shizuaki and Huchun

本プロジェクトの方向性

- 2020年度より「Sustainable heritage tourism in Malaysia」+「内モンゴルにおける草原観光の季節的変動」が合体。
- 「アジアにおいて地域に根ざした，気づかれなかった観光資源の発掘」という共通課題の追究。

⇒コロナ禍で海外現地調査不可に。

⇒この機に日本のオルタナティブツーリズム（ニューツーリズム）の基礎研究を実施？

⇒コロナ禍下で可能なオルタナティブツーリズムは？

コロナ禍のニューツーリズム

- マイクロツーリズム：新型コロナの流行をきっかけに感染防止の観点で広がった、自宅から1～2時間程度の移動圏内の「地元」で観光を中心とし、地域の魅力の再発見と地域経済への貢献を念頭に置いた旅行形態。
- ワーケーション：リゾート地や地方部など、普段の職場とは異なる場所で働きながら休暇取得を行うこと。あるいは休暇と併用し、旅先で業務を組み合わせる滞在のこと。

⇒最近は短期間の観光というより「遠隔地への移住」で地域の関係人口を増やす試み？実態は？



愛知県のあるシティホテルA：「ワーケーションプラン」/2連泊以上の連泊宿泊の割引プラン、清掃無し。朝食付き



岐阜県のある温泉ホテルB：「ワーケーションプラン」/一泊朝食付きで24時間滞在が可能



愛知県のあるグランピング施設C：「ワーケーションプラン」/一棟貸し、各種体験あり。

ホテルの「ワーケーションプラン」

- 大都市のシティホテルにおいて、ワーケーションというよりはむしろテレワークの場所を提供するケース。
- 大都市圏周辺部か遠隔地の天然温泉のあるホテル等で、比較的長めの滞在を想定したケース。
- 「ワーケーション」イメージ：大都市と都市周辺部以遠の様相がかなり異なるか？
- 「ワーケーション」を使用しつつ、基本的にはコロナ禍で減少した客足を少しでも取り戻そうとする試み？

「ワーケーション」？

- 総務省「情報通信白書」サイト：ワーケーションは「リゾート地などで休みを取りつつ（または引っ越して）テレワークをする働き方を指す」と記される。

⇒移住も視野に入れた概念？通常の観光概念と異なる？

- 地域（自治体）と関連事業者には、ワーケーション市場の拡大による関係人口の増加と地域活性化や事業化の可能性への期待がある（田中・石山、2020）